



日本共産党市会議員

2018年06月01日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

保育所落ちた子どもも828人

思い切った保育所の増設と保育士の確保が必要です

4月からの保育所入所を希望して申し込みをした2,745人の子どものうち、828人の子どもが「落選」していたことが、市の発表で明らかになりました。いわゆる「保育園落ちた」子どもたち。行政は「利用保留児童」と呼んでいます。



「利用保留児童」となった828人の子どもたちは、保護者が必死に駆けずりまわり、無認可保育所などに入所することになります。それでも、どこの保育所にも行けない子どもたちが取り残されます。親も子どもたちも深刻な事態に直面します。

子どもの命と安全を保障する保育所の増設を

～規制緩和・基準引き下げの保育はダメ～

保育所の待機児童問題はどこでも深刻。ところが政府は、当然、子どもの育ちを保障し、子どもの命と安全を守る基準を満たした保育所を増やすべきなのに、子どもを危険にさらす規制緩和・基準引き下げの対応をしています。たとえば、施設基準を引き下げ保育児童の定員を増やし詰め詰めでもかまわない、資格がなくてもよい、庭がなくてもよい、地下室の保育所でもよい…。保育所を子どもたちにとって危険で劣悪な環境に置きかえる。こんなことが、待機児童対策と称して、いま政府の手ですすすめられています。

西宮市1500人定員増の計画さえ不十分

西宮市は、2016年からの三年計画で1500人の定員増をめざし、保育所を増設するとしています。しかし、計画が思うように進むかどうかわかりません。また、計画どおりすすんでも待機児童の増加に追いつかない可能性もあります。

子どもの育ちを保障する保育所を思い切って増設すること、あわせて保育士の確保が急がれます。



子どもの医療費の無料 西宮のすべての子どもに 所得制限の撤廃で完全無料を

子どもの医療費の無料制度が全国に広がり、いまでは中学校卒業までの無料があたりまえです。しかし、制度の内容は自治体によってまちまち。西宮市は、一部定額の負担があり、所得制限があります。そのため、無料制度を活用できない子どもがたくさん。西宮のすべての子どもが無料制度を受けられるよう、所得制限を撤廃すべきです！！

相談ごとお寄せください！

西宮市の素早い対応ですぐ解決！

マンホールの突出をなおしてほしい！「つまずきそうで、怖い！なんとかしてほしい！」そんな声が寄せられました。すぐに、市へ連絡。西宮市の素早い対応で、突き出ていたマンホールを下げる工事をしてくださいました。



市議団でアンケート活動を実施。そこには、さまざまな要望がぎっしりと書き込まれています。

たとえば、道路の小さな陥没を直してほしい、木の枝が交通の邪魔になるので何とかしてほしい、すぐに対応できることは、市へ連絡をして、対応してもらい、解決します。

日常生活のなかで感じている問題では、市内の移動が不便！バス路線を増やしてほしい。高齢者の交通助成を拡充してほしい、歩道のがたがたを解消してほしい、通学の交通費をなんとかしてほしい、などなど、市政への願いがよせられています。

さらに、保育所が足りない、介護の利用料が高すぎて介護が受けられない、医療費が高くて病院に行けない、そんな切実な問題もあります。

また、原発の問題、税金の使い方の問題、長時間労働の問題、さらには、憲法を守り抜いてほしい、など、政治全般に対する意見や要望もたくさんあります。

こうした声をしっかり受け止め、問題解決のために、粘り強く頑張ります



改修後のマンホール。平らになっています。